

第8回淡路新地域ビジョン検討委員会 議事録

1 日 時 令和3年11月10日(水) 18:30~20:00

2 場 所 洲本総合庁舎3階会議室

3 出席者

委員：山本委員長、澤田副委員長、栄井委員、片平委員、森委員、横山委員
東田委員、原委員、木戸委員、堀内委員

県：亀井県民局長、吉野交流室長、大橋班長、福栄

4 内 容

(1) 県民局長挨拶

本日の新型コロナウイルスの新規患者数は、県全体で15人と落ち着いている。いろんなイベントも再開して少しずつ賑わいが出てきている。

心配な点として、秋田県で鳥インフルエンザが確認され14万羽が殺処分された。淡路でも昨年の11月25日にほぼ同じ規模の鳥インフルエンザが発生した。気を引き締める必要がある。

花みどりフェアが無事に終了した。春についてはコロナの影響を受けたが、秋には10月1日に緊急事態宣言が明けたこともあり、多くの人々が来場した。

春は72日間で189万人。秋は速報値であるが44日間で200万人近くの人々が来場があった。プラタモリで放送されるなど、淡路地域が脚光を浴びているので、この流れをコロナ後もつなげていきたい。

さて、本日は8回目の検討委員会であるが、素案についてご意見をいただき、来年の3月に向けてのとりまとめを進めていきたい。

(2) 新地域ビジョン(素案)について

【主な意見】

○目標3について

- ・災害が発生することは防ぐことは出来ない。防災だけでなく復興(復興力)についての項目も記載できれば。
- ・将来像の1つ目と2つ目は同じ内容?違いがあまり分からない。

○目標4について

- ・「あたたかく迎える島」とすると、島民に負担があるように見える。「共に成長する島」とすれば、みんなを巻き込む表現になりこれからの方向性のような気がする。
- ・「訪れたい、暮らしたい」に加えて、「生活ができる・暮らせる」というイメージがもう少し欲しい。
- ・企業とのマッチングや自立支援など、淡路島で働きたくなるようなことも入れていいのでは。